



緑肥・緑化の部屋 28

～環境保全の実践を目指して～

タキイ種苗(株) 営業部 緑化飼料課

Q

ラグビー、サッカーなどの激しいスポーツでも比較的傷みにくい丈夫な芝はありますか？

A

2019年ラグビーワールドカップの日本での開催を控え、ますますフィールドスポーツが盛り上がる中、長期大会でのグラウンドの芝の損傷に苦慮されるグリーンキーパーの方も多いことと思います。

そこで、新たに提案したいのが4倍体ペレニアルライグラスの新品種「アスリート4X」です。

関東以西の競技場ではティフトン芝がよく利用され、秋口にペレニアルライグラスをティフトンの上からまくことが多いと思います。今までの芝草用草種、ペレニアルライグラスは「2倍体」が主流でしたが、ようやく「4倍体」の品種が出てきました。2倍体、4倍体というのは、植物細胞中の染色体のセット数が2倍、4倍であることを表しています。一般に、4倍体の植物体は細胞の一つひとつが大きく、環境や踏みつけなどに強いという特性があります。ペレニアルライグラスは放牧地での牧草用にも使われる草種ですが、今のところすべて4倍体のものが利用されています。

「アスリート4X」は、アメリカで開発されたトランジション（春のベース芝への移行性）にすぐれる最新品種で、全米のアメリカンフットボールリーグ(NFL)で使用されている競技場のうち、約70%で採用されています。

競技場以外にも、生徒数の多い校庭緑化や公園・家庭の庭などでもおすすめです。ぜひ、お試しください。



↑環境の変化や踏みつけに強い4倍体のペレニアルライグラス「アスリート4X」。

ペレニアルライグラス

すり切れに強い4倍体品種！

アスリート4X

- 2倍体品種に比べ、環境適応性が高い。
- 発芽・定着が早い。

<播種適期>

- 中間地・暖地：3月～6月中旬、9～10月
- 冷涼地：5月～7月上旬、8月下旬～10月

<播種量>

- 芝生用：40～70 g / m²

<注意点>

- 発芽が早いです。通常の2倍体品種に比べて種子が少し大きくなります。従来の品種よりも多めに播種すると、きれいな芝生が期待できます。



↑左：アスリート4X 右：従来の2倍体品種（児童数の多い幼稚園でのすり切れ抵抗性試験）